

佐賀大学美術館 企画展

「香る景色と見えない世界」

2026年4月1日（水）～5月31日（日）



図1 廣瀬智央《ミントバー》 2021年 ミクストメディア サイズ可変

展示風景：観慶丸、リボンアートフェスティバル 2021（宮城、2021年）Photo by Tartaruga

【会 期】2026年4月1日（水）～5月31日（日）

【会 場】佐賀大学美術館 ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

【開館時間】10時～17時（入館は16時30分まで）

【休 館 日】月曜日（祝日の場合、翌火曜日休館）

【観 覧 料】無料

【主 催】佐賀大学美術館

【協 力】THREE ホリスティックリサーチセンター、理化学研究所 環境資源科学研究センター、小山登美夫ギャラリー、株式会社きやまファーム、Café Sampo

概要

「香り」や「匂い」は、人間がもつ五感の中でもとりわけ主観性が強く、他者と共有することが難しい感覚です。ある香りを心地よいと感じる人がいれば、不快に捉える人もいるように、その受け取り方は個人の感覚に深く依存しています。また、人間には知覚できない香りを感じ取る生物も存在します。このように、嗅覚によって立ち上がる世界は、生き物がそれぞれの感覚によって形づくる固有の世界——環世界——にほかなりません。本展が目指すのは、その違いを一つにまとめたり、理解不能なものに迫ったりすることではなく、互いに異なる感覚が確かに存在していることを認め、その多様性そのものを想像し、共感する試みです。私たちは同じ世界を生きているように見えて、実際にはそれぞれ異なる世界を感じ取っています。その違いに気付いたとき、世界はむしろ豊かに広がり始めるのかもしれません。

本展では、常木理早、廣瀬智央、前田真治の3名のアーティストが、身体や感覚を通じて多様な知覚のあり方を探る新作を中心に紹介します。感覚の奥行きから立ち上がる、見えない世界の広がりをご体感ください。

【プレビュー】

日時：2026年3月31日（火）13:00～17:00

【プレスツアー】

日時：2026年3月31日（火）13:00～14:00（予定）

3名の参加アーティストと本展担当学芸員による作品解説ツアーを行います。

※ご参加希望のメディアの方は、事前にご一報いただけますと幸いです。

連絡先：0952 - 28 - 8333（佐賀大学美術館）

関連イベント

①オープニングトーク

登壇者：常木理早、廣瀬智央、前田真治（本展出展アーティスト）

日時：2026年4月1日（水）15時30分～17時

会場：佐賀大学美術館 受付集合

対象：どなたでも

参加：無料

申し込み：先着20名、3月3日（火）より事前申込制（TEL 0952-28-8333）



左より：常木理早（Photo：山谷佑介）、廣瀬智央（Photo：Emy Amaro）、前田真治（Photo by EMIA）

②THREE ホリスティックリサーチセンター×廣瀬智央 ～香りのダイアローグ～

概要：廣瀬智央の作品から着想を得て調合された精油を用い、香りを通して対話を行うワークショップを開催します。ワークショップでは、「香りを通じて自分と他者の世界の違いに気づくプログラム」と「見えない香りを言葉として捉えていくプログラム」の二つを行い、感覚の豊かさや新たな気づきを共有していきます。

講師：大高 昌（THREE ホリスティックリサーチセンター）、廣瀬智央

日時：2026年4月5日（日）13時～14時30分

会場：SUAM PLUS 1階

対象：どなたでも

参加：無料

申し込み：先着10名、3月3日（火）より事前申込制（TEL 0952-28-8333）

③担当学芸員による展覧会解説

日時：2026年5月2日（土）13時～14時

対象：どなたでも

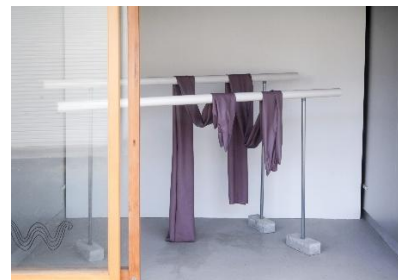
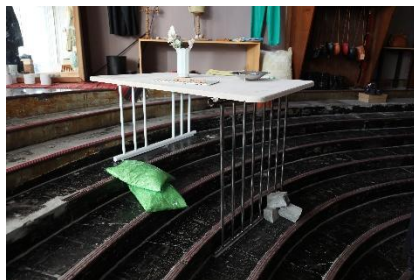
参加費：無料

申し込み：不要、当日会場にお越しください。

作家紹介

常木理早 TSUNEGI Risa

1982年群馬県生まれ。ロンドン芸術大学チェルシー・カレッジにて絵画を学び、2009年グラスゴー芸術大学にてMFA修了。園芸や体操競技、劇場あるいは電車内といった特定の環境下における道具とそこから導かれる動作に着想を得て、日常に溢れている一見関連のないモノとイメージを組み合わせた立体作品やインスタレーションを制作している。主な展覧会に、「ここにある一記憶と忘却、または表裏」(2023、Study: 大阪関西国際芸術祭 Vol.3、大阪)、「しなやかなボディ」(2023、Waves Project、神奈川)、「黄金町バザール」(2019/2020/2021、神奈川)、など。



左 図2《ある日の卓上》2025年 ミクストメディア、ファウンドオブジェ サイズ可変 Photo by Kabo (花坊)

右 図3《しなやかなボディ》2023年 ミクストメディア D94 x W200 x H127 cm

廣瀬智央 HIROSE Satoshi

1963年東京生まれ。多摩美術大学卒。ミラノ・ブレラアカデミー修了。ミラノを拠点に活動。インスタレーション、彫刻、写真、絵画、ドローイング、パフォーマンス、プロジェクトなどの多様なメディアを使い、視覚以外の感覚領域や身体へのアプローチなど、鑑賞者の想像力を掻き立てる作品を創出する。境界を越えて異質な文化や事物を結びつける脱領域的な想像力が創造の原理となっており、日常生活の体験と関わりを軸に、世界の知覚を刷新する表現を創りだす。近年の主な展覧会に「Sky studies」(2024年、カラセッタ現代美術館、カラセッタ、イタリア)、「月の裏側」(2023年、小山登美夫ギャラリー、東京)、「地球はレモンのように青い」(2020年、アーツ前橋、群馬)など。主な収蔵先に、マイクロソフト・アートコレクション(レッドモンド、アメリカ)、森美術館(東京)。



図4《クールダウン》2025年(2001年) 寒冷紗、ベルシャン絨毯(ギャッベ)、ミント、ミントオイル サイズ可変

展示風景: 練馬区美術館(東京、2025年) Photo by Tartaruga

前田真治 MAEDA Shinji

1976 年生まれ、尼崎市在住。英国ミドルセックス大学 BA Fine Art で学び、後に中退。2007 年より、アーティストグループ「団 Dans」に参加し、国内外多数展示。2012 年より神戸を拠点に、アーティスト集団 GermanSuplexAirlines を設立。その後、尼崎市に拠点を移し、行政や企業、宗教に至るまで、様々な社会活動に半ば強引に独自の提案をし、その「過程と結果」を作品化する活動をしている。一連の活動は、美術が攪拌した事象を社会に残滓として留め、やがて風習や常識へと変化していく潮流の創出を目指している。主な活動は、あえて呼称をつけるなら「尼崎市全体を作品化する計画」（2017～）。また、チームでの活動として「コロナ大仏」造立（山口市/洞春寺、2024）に主軸の一人として携わっている。



左 図5《なれのはて》 2024 年 スタイロフォーム、アクリル塗料 H80×W180×D90cm Photo by EMIA



右 図6《Cashless》 2019 年 馬券、舟券、車券のハズレ券、桜無垢材、アクリル H200×W120×D120cm

佐賀大学美術館 企画展「香る景色と見えない世界」 広報用画像申込書

佐賀大学美術館広報担当 宛 FAX 0952-28-8215

ご希望の画像を記載ください。画像(JPEG)をメールにてお送りいたします。

*本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供いたします。

個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご提供できません。

*掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

希望番号	
------	--

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地： 〒	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	

【お問い合わせ】 佐賀大学美術館 企画担当：五十嵐・江口

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1 TEL:0952-28-8333 FAX:0952-28-8215

URL: <https://museum.saga-u.ac.jp/> EMAIL: sbj8333@mail.admin.saga-u.ac.jp